

## 平成21年度財団法人農学会事業報告書

### 1 学術研究業績の表彰

本財団の寄付行為に定められている目的を実現する方策として設立した日本農学進歩賞は、日本の農学に従事している萌芽的な研究成果をあげた若手研究者を毎年10名程度顕彰する制度である。21年度は30機関から28名の推薦があり11名を表彰した。

第8回農学進歩賞授賞式及び記念講演会を平成21年11月25日（水）に実施した。

### 2. 農事に関する重要な事項の調査

#### (1) 日本技術者教育認定機構（JABEE）技術者教育プログラム（農学一般関連分野）審査事業

日本技術者教育認定機構（JABEE）の幹事学協会として4校4件の技術者教育プログラム（農学一般関連分野）の審査を実施した。

#### (2) 日本技術者教育認定機構（JABEE）普及指導活動

① JABEEでは平成13年度からJABEE公認の分野別審査員候補者講習会を開催することを認めているため、(財)農学会が中心となり農業工学関連分野、森林関連分野、生物工学関連分野の幹事学会である各学会と共催して審査員候補者研修会を開催した。

日 時 平成21年7月25日（土）

会 場 東京大学農学部 弥生講堂

講 師 10名

参加者 59名

#### ②指導員派遣（実地相談）の実施

なし

### 3. 学術講演会の開催

学術成果を社会に還元するため公開セミナー等を財団法人農学会主催、共催、協賛で開催した。

#### (1) 「農林水産物自給力の向上を目指して」

「穀物の自給力」

丸紅経済研究所 所長

柴田明夫

「水産物の自給力」  
政策研究大学院大学 教授 小松正之  
「木材の自給力」  
東京大学農学生命科学研究科 教授 安藤直人  
パネルディスカッション  
「自給力は、本当に向上できるか」  
コーディネーター 財団法人農学会会長 林良博  
日時 平成21年5月20日（参加者173名）  
場所 弥生講堂一条ホール  
主催 財団法人農学会  
共催 東京大学大学院農学生命科学研究科  
企画協力 ワールドウオッチ・ジャパン

(2) 「日本の食は安全か？」

「動物に潜む病原レンサ球菌について」  
食の安全研究センター 教授 関 崎 勉  
「食の安全確保技術とその諸問題：スクレイパー及び牛海綿状脳症  
を中心として」  
応用動物科学専攻 教授 小野寺 節  
「環境にとって安全な食とは」  
農学国際専攻 教授 小 林 和 彦  
日時 平成21年6月20日（参加者208名）  
場所 東京大学農学部 弥生講堂一条ホール  
主催 東京大学農学生命科学研究科・農学部  
共催 財団法人農学会

(3) 「農林水産物自給力の向上を妨げるもの」

「中山間地の現状と対策」  
栃木県茂木町・町長 古口たつや  
「獣害の現状と対策」  
兵庫県森林動物研究センター・主任研究員 坂田 宏志  
「水産の現状と対策」  
東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 八木 信行  
パネルディスカッション  
コーディネーター 財団法人農学会会長 林 良博  
日時 平成21年10月17日（参加者115名）  
場所 東京大学農学部 弥生講堂一条ホール  
主催 財団法人農学会  
共催 栃木県茂木町

兵庫県森林動物研究センター  
東京大学大学院農学生命科学研究科

(4) 「農学における分析化学の最先端」

「TENTO媒介酸化セルロースの構造解析とナノ材料への展開」

東京大学農学部 製紙科学研究室 斉藤 継之

「哺乳類の性決定メカニズムの解析」

東京大学農学部 獣医解剖学研究室 金井 克晃

「植物栄養輸送体の解析と応用」

東京大学生物生産工学センター 植物機能工学研究室 藤原 徹

日時 平成21年11月7日

場所 東京大学農学部 弥生講堂一条ホール

主催 日本農学アカデミー

協賛 財団法人農学会

(5) 「生物情報を活用した新しい農学研究 - インフォマティクスの身近な話題への応用」

「ゲノム育種によりトラフグの優良品種作出をめざす」

付属水産実験所 教授 鈴木 譲

「植物の環境ストレス応答機構の解明と分子育種への応用」

応用生命化学専攻 教授 篠崎 和子

「植物医科学の展開と生物情報の活用 - 始まった植物医師養成と植物病院ネットワーク構築 - 」

生産・環境生物学専攻 教授 難波 成任

「アグリバイオインフォマティクスとは - 教育研究プログラムの活動について - 」

応用生命工学専攻 教授 清水 謙多郎

日時 平成21年11月28日 (参加者198名)

場所 東京大学農学部 弥生講堂一条ホール

主催 東京大学農学生命科学研究科・農学部

共催 財団法人農学会

4. 印刷物の刊行

(1) 第8回日本農学進歩賞受賞者講演要旨集刊行

年1回 300部 (55頁)

(2) 農学・農業関連分野の情報発信と情報交換を促進するため農学関連の教

育研究機関等のホームページの作成、改良、運営を支援した。

5. その他目的を達成するために必要な事業

弥生講堂一条ホール内において学会等を開催する諸団体の要望及び農学会の自主的財源による事業拡大の方策として備品類（液晶プロジェクター、スライドプロジェクター、展示パネル等）の貸出業務を行った。

6. 会議開催について（理事会、評議員会）

平成21年度中に理事会、評議員会を2回開催し、主として次の事項について審議した。

- (1) 平成21年度事業並びに決算について
- (2) 平成22年度事業計画並びに予算について
- (3) JABEE幹事学協会としての事業について
- (4) 農学会の活性化について